

こんにちは **わしの恵子** です



**12年ぶり
日本共産党が
本格論戦**

9月17日～10月14日に開催された9月定例県議会は、日本共産党以外の会派の賛成で補正予算案を可決・成立させました。しかし、共産党が12年ぶりにオール与党県政に真正面から挑んだ論戦に、今までダンマリ賛成だった与党会派も討論に立たざるをえなくなり、愛知県議会が大きく様変わりしています。

戦争法にキツパリ反対 愛知を戦争拠点にさせない!

**下奥議員：戦争法やF35整備
拠点化 知事の姿勢ただす**

**知事答弁せず 局長：F35整備は
国に詳細な説明を求めている**

日本共産党の下奥議員は「愛知県には多くの自衛隊基地があり、戦争法の強行や、米軍機を含むF35戦闘機の広域整備拠点を小牧に設置することは大問題。知事の姿勢は」と追及。

知事は答弁に立たず担当部長に代理答弁させ、「安保法制は(知事の)コメントの通り」「F35の広域整備拠点は国に詳細な説明を求めている」と、「コメント」の内容も述べず、結局は容認するかのような姿勢でした。

**わしの議員：航空博物館に税金
30億もの投入を厳しく批判**

**自民・民主・公明は知事提案に
チェック機能を果たさず**

わしの議員は、航空博物館建設に30億円もの税金を投入することに対して、①戦争美化につながる、②30億円もの県費の無駄遣い、③連携する施設に軍事施設を含むという問題を指摘。「平和で安全な名古屋空港を願う県民の想いに背く」と厳しく批判しました。

自民・民主・公明は知事の提案を持ち上げるだけで、議会のチェック機能を全く果たそうとしていません。

県の予算は大企業中心でなく 県民のいのちと暮らしのために

大村知事は三菱の航空博物館だけでなく、幕張メッセよりも大きい大規模展示場を、名古屋市とは別に建設する計画にも3千万円を計上。わしの議員は、県民生活を支え、若者の未来に希望が持てるような施策こそ必要だと県政の転換を求めて県当局を追及しました。

**わしの：60歳以上7,700円で
宿泊できる県施設は存続を**

**当局：サービス提供の必要はな
くなった→本会議で廃止決定**



視察するわしの議員

県は南知多老人福祉会館の廃止条例を提案。わしの議員は現地も調査し、利用者の8割が60歳以上で、利用率も決して悪くないことを示し存続を求めました。県は「公の施設は必要なくなった」の一点張り。最終的に日本共産党以外の賛成で廃止が決定しました。

**わしの：介護報酬改定による利
用料の大幅値上げの実態つ
かみ対応を**

**当局：報酬引き下げを補てんす
る値上げは認められない**

わしの議員は介護報酬の引き下げで「利用料を月額1万5千円引き上げます」という施設の通知を示し、負担増やサービスの低下の実態をつかんでいるかと県を追及。当局は「減益を補うような引き上げは認められない」と答弁。わしの議員は、介護報酬の引き下げによって、赤字に苦しむ事業者や、負担増となった利用者の実態を調査し、県として必要な対応を行うことを求めました。



議会で発言するわしの議員

日本共産党が若者施策提案、当局も前向きに答弁



下奥議員は、若者や学生の実態を示しながら、「非正規就労を是正する県の助成」、「大学生に対する県独自の奨学金給付制度の創設」、「ブラックバイトから身を守るため県の窓口の増設やリーフの増刷」等を提案しました。

県は、「若者が使い潰されるのは社会的にも大きな損失」、「高校生に働くルールを知らせていく」、「労働にかかわる出前講座を昨年は20校4100人に行なったが、一層強めたい」と前向きな答弁でした。